

## ひたちなか市立外野小学校 学校長：石川 拓也

【実施日時】	平成20年10月17日(金) 9:30~12:00
【参加者と人数】	6学年児童112名
【講師】	梅沢 貞夫(日本) 宮崎 花衣(日本)
【活動内容】	シニア海外協力隊経験者 梅沢さんのお話, ダンス, 楽器の体験, 質疑 ザンビアの自然, 人々の様子, 産業, 文化, 梅沢さんが活動したことなど 青年海外協力隊経験者 宮崎さんのお話, クイズ, 質疑 ニカラグアの国旗, 言葉, 国土, ゴミの問題, 宮崎さんが活動したことなど
【参加者の感想】	<p>ニカラグアでは, 日本といえばTOYOTAが有名というのは驚いた。</p> <p>ニカラグアはごみが多かったけど, 少なくする努力をしているというのを聞いて, 私もゴミのポイ捨てをやめ, リサイクルなどをしようと思った。</p> <p>ザンビアは車がほとんど無く, 学校やお店に行くのも歩いていかなければならないのが大変だと思った。</p> <p>ザンビアでは, 食事にねずみ, 羽根アリ, イモムシなどを食べると聞いて驚いた。貧しい国なんだなあと思った。食べ物を粗末にはいけないと思った。</p> <p>ザンビアでは平均年齢が40歳というのはかわいそうだと思った。エイズという伝染病を治す薬を作れないものかと思った。</p> <p>言葉やダンス, 楽器などを教えてもらったり, 実際にやってみたりして楽しかった。鉛筆やペンをたくさん持っている私たちはとても恵まれていると感じた。</p> <p>みかん箱交流に参加して, ザンビアの人たちを助けたい。</p> <p>まったく違う文化や言葉の国に行ってボランティアをするのは, なかなかできないことだと思った。</p> <p>私も他の国に行って, ボランティアをして人の役に立つ仕事がしたい。</p> <p>今の私たちにもできることはないか考えたい。</p>
【担当者の感想】	見知らぬ国に行って, 現地の人たちと身近に接し, その人達に必要なことを考え, 真摯に活動していることがよくわかった。「自分の力でこの国の工業を発展させたい。」「外国で, 環境教育に携わる仕事がしたい」というお二人の強い思いが伝わってきた。「世界にはいろいろな国があり, 互いに助け合うことが大事だ。」など, 子どもたちの心に残るメッセージをたくさんいただいた。また, 子どもたちにとって, 全く未知の国であったザンビアとニカラグアという国について, 少しでも異文化理解が図られ, 自分たちの生活を振り返れるよい機会になったと思う。